

★長谷寺の出世弁才天

はせでら しゅっせはんざいてん
長谷寺にある弁天さまの絵や彫刻の

なかでも、とくにゆうめいなのが、
「出世弁才天」とよばれるお像です。

とても小さな像ですが、今から
300年ほどまえの江戸時代中ごろの

記録にも、この像のことが書いてあり、
古くから知られていたことがわかります。

この像は弘法大師(空海、774-835)という平安時代のえらいお坊さんがつ
くったとされていますが、じっさいにつくられたのは江戸時代ころのことだ
と考えられています。

★弁天さまに会いにいこう

弘法大師の伝説は、鎌倉の近くの江の島にもものこっています。江の島も、

弁才天の霊場(お寺や神社があるところ)としてよく知られています。



宇賀神
※本来の宇賀神は、
人頭蛇身(頭だけ人間)
とされています。

わしのことも
おわすれなく!

弁天さまはもともと川の神さまなので、その霊場
も、池のほとりや海辺など、水のあるところに多く
つくられてきました。

みなさんのお家の近くにも、弁天さまと会うこと
ができるお寺や神社があるかもしれません。

ぜひ、さがしてみてください。

私の伝説は
日本じゆうに
あるのだ



空海

べんてん 弁天さまのひみつ



※インドのお経では、①②のかわりに弓矢をもつことになっています。

- ① 鎌(かぎ)
- ② 利剣(りけん)
- ③ 刀(かたな)
- ④ 稍(ほこ、やり)
- ⑤ 斧(おの)
- ⑥ 長杵(ぎね)
- ⑦ 鉄輪(てつりん)
- ⑧ 罽索(けんさく)

☆☆☆ 弁天さまの持ち物 ☆☆☆

Q. わたしは、長谷寺の弁天さま。どんな神さまか、あててみてね!
ア. 戦いの神さま イ. 音楽の神さま ウ. 学問の神さま エ. 商売の神さま

いくつえらんでもがまいません。こたえはつぎのページへ! =>

A.(まえのページのこたえ)

ア、イ、ウ、エぜんぶ正解

★弁天さまのご利益



「武器をたくさん持っているから、戦いの神さまなのはわかるけど、あとの3つはどうして？」

と思った人も多いでしょう。かぎを持っている

のは、商売はんじょう(お金がたくさんもうかること)のご利益があることをあらわしています。

(江戸のころまでは、かぎのある家は少なく、

かぎといえば、お金もちが財産を守るためにくらの戸につけるものでした。)

また、「弁」という字には「わきまえる(ものごとのなりたちやしくみがわかる)」「話す」などの意味があり、学問(ばんきょう)や弁舌(わがりやすく話すこと)の神さまであることをあらわしています。

弁天さま(弁才天)にはいろいろなしゅるいがあり、上の絵のように、琵琶という楽器を持ったすがたであらわされることも多く、音楽の神さまとしても知られています。これらのご利益は、弁天さまがもともとインドのサラスヴァティという川の神さまだったことから、水の流れる音にちなむものだという説もあります。

★いろいろな弁天さま

弁天さまには、大きくわけて3つのしゅるいがあります。

ひとつは、インドで書かれた『金光明最勝王経』というお経によるもので、日本には1300年まえの奈良時代に伝わりました。ここでの弁天さまは、

仏の教えを守って戦うため、8本の手にたくさんの武器をもったすがたで登場します。また、たいへん美しい女神であるとも書かれています。

ふたつめは、今から1200年まえの平安時代に、中国から日本に伝わった密教という教えにもとづく弁天さまで、「まんだら」という仏の世界をえがいた絵にも、2本のうでに楽器をかかえた音楽の神さまとして、えがかれるようになりました。

みつめは、800年ほどまえの鎌倉時代ころに日本で書かれた『弁天五部経』によるものです。8本の手にかぎや宝珠(宝もの)を持ち、頭に宇賀神という、八びの形の神さまをのせたすがたです。財産をふやしてくれる神さまなので、「弁才天」のかわりに「弁財天」と書かれることもあります。このタイプの弁天さまは、日本だけで見られるものです。

★七福神と弁天さま

人びとをしあわせにしてくれる神さまを、「福の神」といいます。日本では、今から500年ほどまえの室町時代のおわりごろ、「七福神」とよばれる7人の福の神が

人気をよびました。いまのメンバーがきまったのが

いつごろのことかは、はっきりとはわかりませんが、弁天さまと同じく女性の神さまである吉祥天をくわえていた時期もあったようです。一説には、吉祥天には黒闇天という妹がいて、この妹が人びとにわざわいをもたらすので交代させられたのだともいわれています。今では、弁天さまは七福神の中でただひとりの女性の神さまとなっています。(あとの6人は、大黒天・毘沙門天・布袋尊・福祿寿・寿老人・恵比寿。)

